



野 月 一 博
(高志会)

狭隘道路^{きょうあい}の改善策は

地元で用地確保した場合
優先的に整備する

議員 西十四番町街区などの市道には、車がすれ違うことが困難な狭い道路があり、緊急車両の通行にも支障を来している。このような道路の改善状況は。

建設部長 住宅が密集する地域での、幅員が四メートルに満たない狭い道路は、西十四番町街区、西二十一番町街区、西二十三番町街区に多く存在し、災害時などに支障を来しています。一刻も早い

拡幅整備が必要であると認識していますが、現在は主要道路の整備を優先していること、用地補償に多額の費用がかかることから、拡幅整備は難しいと考えています。しかし、平成二十二年度に定めた拡幅整備要綱において、地域で拡幅用地を確保した場合は、優先的に



車のすれ違いが困難な狭さ

整備を行うこととしており、現在西十四番町街区の一路線で整備事業を実施しています。

議員 秋田県小坂町との県境を越えた定住自立圏構想について、どのような期待を寄せているのか。

市長 秋田県小坂町とは、十和田湖を介して一定の地域的な繋がりを有しており、これまでも観光などにおいて連携して事業を進めてきています。今後は協定締結に向けて、連携する項目を

詰めていきますが、診療所の医療サービスの維持や観光分野を軸に協議していきたいと考えています。

議員 今春の、市内にある高校卒業者の就職状況はどうなっているか。

観光商工部長 三沢公共職業安定所十和田出張所によると、就職希望者二百三十九人に対し企業からの求人数は五百五十八人で、求人倍率は二・三三倍となりました。四月末の就職状況は、市内二十九人、県内九十四人、県外百十六人で、就職希望者全員が就職しています。

議員 企業誘致の支援策を拡充する考えは。

観光商工部長 県や他市の支援制度を参考にしながら検討を続けていきたいと考えています。

写真パネル「原爆と人間」を
購入し公開する考えは
原爆ポスターの貸し出しで
対応したい



舛 甚 英文
(日本共産党)

議員 市長は当選して間もなく平和市長会議に加入しました。平和市長会議のメンバーとして、核兵器廃絶のため、日本被爆者団体協議会が制作した原爆写真パネル「原爆と人間」を購入し、公的施設で毎年

夏に公開、展示する考えは。

市長 現在「原爆と人間」写真パネルの購入は考えていませんが、写真パネルとほぼ同じ内容のポスターを平和市長会議で配信しています。当市でもこのポスターを所有しており、貸し出ししたいと考えています。貸し出しについては広報やホームページにて周知していきます。



原爆ポスターの一部

議員 窓口のワンストップサービスについて、基本的な考え方は。

市長 常日頃から職員に対し、お客様の立場に立って、おもてなしのこころで対応するよう指示しております。また、ワンストップサービスのあり方に

についても研究するよう指示をしたいと考えています。

民生部長 ワンストップサービスとは、関連する手続きを一箇所で行うことができ、お客様にとって、わかりやすく便利なものです。現在、市民課窓口では、手続きの際に複数の課に関する場合には関連課についての説明や、記入していただいた届出書のコピーを活用することによりお客様の負担を少なくするよう努めています。

議員 街路灯設置及び電気料金について、町内会の負担が大き過ぎるため、公費で負担する考えは。

民生部長 少子高齢化社会を迎え、町内会の会員数減少などにより、町内会の運営は厳しくなっていると認識しています。街路灯に係る町内会負担の緩和については、市が設置し維持管理を行う防犯灯の整備状況を見極め、財政協議を進めていきたいと考えています。